

学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」
～発信力・行動力を身につけ、
自己肯定感を得られる生徒の育成～



新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は本校教育活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さまざまな制約はありますが、生徒たちが充実した学校生活を送れますよう、教職員一丸となって取り組んで参ります。

今を大切に生きる

あなたが眠りにつくのを見るのが

最後だとわかっていたら

わたしは もっとちゃんとカバーをかけて

神様にその魂を守ってくださるように祈っただろう

このような書き出しで始まる詩があります。10歳で亡くなった息子サムエルに捧げたノーマ・コーネット・マレックさんの「最後だとわかっていたら (Tomorrow Never Comes)」という詩です。この詩には息子の死というとても辛く悲しい出来事が背景にあります。でも、続きを読み進めていくと、母親の悲しさとは別に「うん、うん。」と共感し、今日一日を大切に生きようと思えてきます。明日が来ないかもしれないから、今を大切にするというのではなく、「ちゃんと思いを伝えたか?」「全力を尽くしたか?」「これでよかったのか?」と、自問するきっかけになる詩だと感じます。続きには、こんな一節もあります。

だから 今日 あなたの大切な人たちを しっかりと抱きしめよう

そして その人を愛していること いつでも いつまでも大切な存在だということを そっと伝えよう

「ごめんね」や「許してね」や「ありがとう」や「気にしないで」を伝える時を持とう

そうすれば もし明日が来ないとしても あなたは今日を後悔しないだろうから

私も、こんなふうに、自分の側にいる人に対して素直に自分の思いを伝え、一日一日を大切にできる人になりたいと思います。

(詩「最後だとわかっていたら」より引用)



「思い」は、人生の種 心が呼ばなければ、やり方も見えてこないし、成功も近づいてこない。だからまず強くしっかりと願望することが重要である。だれの人生もその人が心に描いたとおりのものである。思いはいわば種であり、人生という庭に根を張り、幹を伸ばし、花を咲かせ、実をつけるための、もっとも最初の、そしてもっとも重要な要因なのである。稲森和夫さんの言葉です。まずは自分の「思い」がスタートであり原点であり、「思い」がなければどんなことも成し遂げられないということです。自分の目標を為し得るためには、この「思い」というものが、何よりも大切です。しかも、並みに思ったのではダメです。「すさまじく思う」ことが大切。漠然と「そうできればいいな」と思う生半可なレベルではなく、強烈な願望として、寝ても覚めても四六時中そのことを思いつづけ、考え抜く。それほどまでひたむきに、強く一筋に思うこと。そのことが、物事を成就させる原動力となるのです。3年生のみなさん、今こそ、がんばるとき。